

# MG composite scale

## 10項目の質問表

記入日
/ /
患者氏名
担当医名

- 「MG composite scale」は、MG-ADLスケールとQMGスコアから、MGの症状や臨床的变化に関連し、かつ医師と患者さん両方に意味のある項目を選び、さまざまな要因を考慮して重みづけされた、MGの重症度を評価するための質問表です<sup>1)</sup>。
- 10項目について、項目ごとに重みづけされている点数よりそれぞれ4段階(合計0～50点)で評価し、点数の合計が高いほど、重症と判断されます。
- MG composite scaleの合計3点以上の改善は、臨床的に意義のある改善とみなされます<sup>2)</sup>。

1) Burns TM, et al. Muscle Nerve. 2008; 38: 1553-1562.

2) Burns TM, et al. Neurology. 2010; 74: 1434-1440.

患者さんの状態にあてはまる点数を、患者さんの申告と合わせて記入してください。

項目									点数 記入欄
上方視時の眼瞼下垂出現までの時間(医師の観察)	>45秒	0	11～45秒	1	1～10秒	2	常時	3	
側方視時の複視出現までの時間(医師の観察)	>45秒	0	11～45秒	1	1～10秒	3	常時	4	
閉眼の筋力(医師の観察)	正常	0	軽度低下 (閉眼維持可能)	0	中等度低下 (閉眼維持困難)	1	重度低下 (閉眼不能)	2	
会話、発音(患者の申告)	正常	0	時に不明瞭 または鼻声	2	常に不明瞭または 鼻声だが理解可能	4	不明瞭で理解が 困難	6	
咬む動作(患者の申告)	正常	0	固い食物で疲労	2	柔らかい食物でも 疲労	4	栄養チューブ使用	6	
飲み込み動作 (患者の申告)	正常	0	まれにむせる	2	頻回のむせのため 食事に工夫を要す	5	栄養チューブ使用	6	
MGによる呼吸状態	正常	0	活動時息切れ	2	安静時息切れ	4	呼吸補助装置使用	9	
頸の前屈/背屈筋力 (弱い方を選択、医師の観察)	正常	0	軽度低下	1	中等度低下 (おおよそ半減)	3	重度低下	4	
上肢の拳上筋力 (医師の観察)	正常	0	軽度低下	2	中等度低下 (おおよそ半減)	4	重度低下	5	
下肢の拳上筋力 (医師の観察)	正常	0	軽度低下	2	中等度低下 (おおよそ半減)	4	重度低下	5	
合計(0～50点)									

(Burns TM, et al. Neurology. 2010; 74: 1434-1440. より作成)

「重症筋無力症/ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン作成委員会編:重症筋無力症/ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン 2022 p.28 2022, 南江堂」より許諾を得て転載